

記入例:減収された方

生活困窮者住居確保給付金支給申請書

フリガナ	イタバシ タロウ
①氏名	板橋 太郎
②生年月日	昭和・平成・令和 ●●年 ●●月 ●●日 満(●●)歳
③電話番号	●●●-●●●●-●●●●

④次の1.又は2.の場合であること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)

1. 離職又は第3条第1号に規定する場合

離職等の時期	
離職等した事業所	

2. 第3条第2号に規定する場合

給与その他の業務上の収入を得る機会の減少の状況	経済社会情勢の変化により就労機会の減少を余儀なくされ減収となった。
-------------------------	-----------------------------------

⑤離職等前に世帯の生計を主として維持していたこと又は申請月において維持していること

離職等前の雇用状況等、世帯の生計の維持にかかる状況	契約社員として働き、就労収入により生計を維持していた。
---------------------------	-----------------------------

⑥次の1.又は2.のいずれかに該当していること (いずれか該当する数字を○で囲んだうえ、該当する方に記載)

1. 住居を喪失していること

住居を喪失した時期	
喪失した住居の住所	
現在の状況	

2. 住居を喪失するおそれがあること

現在の住所	板橋区板橋●-●●-●●	記入しないでください。相談員確認の上で記載していただきます。
住居の家主等		←
喪失するおそれのある住居の家賃額	50,000円	← 共益費・管理費は除きます。
現在の収入状況等、住居喪失のおそれがある理由、状況等	減収したため、家賃を支払うことができない。	

⑦申請者及び申請者と同一の世帯に属する者の収入及び預貯金が次のとおりであること

フリガナ	イタバシ タロウ	イタバシ ハコ	← 同一世帯の方をご記入下さい。	合計
氏名	板橋 太郎	板橋 花子		
続柄	本人	妻		
生年月日	平成●●年●●月●●日	平成●●年●●月●●日		
収入(月額)	円	円	← 記入しないでください。相談員確認の上で記載していただきます。	円
預貯金等	円	円	←	円

※申請日の属する月の収入(月額)が確実に推計できる場合はその額を、変動あるときは収入の確定している直近3か月の平均収入を記載する。雇用保険の失業等給付、児童扶養手当等各種手当も合算する。

上記の申立事項に相違なく、生活困窮者自立支援法施行規則(以下「則」という。)第13条の規定により、必要書類を添えて生活困窮者住居確保給付金(以下「住居確保給付金」という。)の支給を申請します。

私の個人情報、住居確保給付金の支給並びに臨時特例つなぎ資金及び総合支援資金の融資を行うために必要となる範囲で、則第4条第1項第2号に規定する都道府県等、公共職業安定所、職業安定法(昭和22年法律第141号)第4条第9項に規定する特定地方公共団体、同条第10項に規定する職業紹介事業者であって地方公共団体の委託を受けて無料の職業紹介を行う者、社会福祉協議会及び自立相談支援機関の間で相互利用されることについて了承します。

また、裏面の注意事項について、同意します。

令和 年 月 日

相談員に確認の上、申請日の日付をご記入下さい。

(あて先) 板橋区長

申請者氏名 板橋 太郎